

珠洲焼プロジェクト 2019

に活用しました

珠洲焼復興40周年、珠洲焼資料館開館30周年を記念した、「珠洲焼プロジェクト2019」に「ふるさと納税」を活用させていただきました。



珠洲市へご寄附いただいた ふるさと納税は、多くの 事業に活用しています

寄付金活用の ご報告

平成20年度からスタートした『ふるさと納税制度』。皆様からお寄せいただきましたご寄附は、令和元年度では4,680件、8,370万8千円、平成20年度からの分を合わせますと1万5,245件、3億3,322万1,939円に上り、多くの事業に活用させていただきました。今回は、令和元年度にご寄附を活用させていたしました。だきました事業の一部をご報告いたします。

珠洲市では、これからも『美しい里山里海の自然環境の保全』と『子どもからお年寄りまでが元気で暮らせる住みよいまちづくり』の実現を目指してまいります。



放課後子ども教室 推進事業 に活用しました

珠洲市では、子どもたちに放課後や週末等における放課後子ども教室の開設を進めています。

平成29年9月に蛸島小学校を放課後子ども教室モデル校としてスタートし、平成31年4月には若山小学校とみさき小学校において開設しました。放課後子ども教室では、宿題や読書などの自主学習、運動や室内ゲームのほか、週に1回程度、地域の方々の協力を得ながら、子どもたちに様々な体験活動や文化に触れる機会を提供しています。



今後も「地域」「学校」「家庭」と連携しながら、子どもたちが心豊かでたくましく成長できるよう、活動プログラムのさらなる充実に努めるとともに、既存の放課後児童クラブも放課後子ども教室へ移行してまいりたいと考えております。



トライアスロン 珠洲大会 に活用しました

珠洲市では例年8月下旬にトライアスロン珠洲大会を開催し、交通推進隊や水難救済会、婦人会や各地区の方々などのボランティアとの連携のもと、市を挙げて選手のみなさんをサポートし、大会を盛り上げております。

今後も、トライアスロン大会を通じ、本市を訪れる多くの方に本市の魅力を発信してまいりたいと考えております。

しい人情が大きな魅力で、毎年多くのアスリートが参加されます。

「珠洲焼プロジェクト2019」を通して、珠洲焼の魅力、そして珠洲市の魅力を広く発信することができたと考えております。また、今後とも引き続き珠洲焼の振興に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

昨年9月18日から29日にかけて、東京の渋谷ヒカリエにおいて「珠洲焼ー中世・日本海に華ひらいやきものの美」をテーマに、県内外から集めた中世珠洲焼の代表作70点を展示し、期間中には1,944人の方にご入館いただきました。



キャラバーでの「ぶどうの木」金沢総料理長の米田岳人さんによるワンプレートランチの提供、半澤鶴子さんによる珠洲焼とお茶のコラボなど、市内でも様々なイベントを展開しました。

そのため珠洲市では、持続可能な地域公共交通システムの構築を目指し、将来的には市内公共交通の無償運行も視野に入れた検討を進めています。

昨年の11月には、北鉄奥能登バス株式会社が運行する「特急バス」や珠洲市と能登町を結ぶ「転換バス」を除く市内全バス路線を対象としたバスの乗車無料実験を実施しており、この結果を基に無償運行の際に必要となる車両の大きさや運行ルート、ダイヤなどを検討していくこととしております。

また、無償運行の実現に向けては、運転手の確保や運行体制の確立、そして現地への説明会やヒアリングなどを通し、地域住民と一緒にとなって取り組んでまいりたいと考えております。



在バスが運行していない、いわゆる公共交通空白地域への対応が課題となることから、令和2年度以降、各地区への説明会やヒアリングなどを通し、地域住民と一緒にとなって取り組んでまいりたいと考えております。

今後も珠洲市のサポーターの皆様の『ふるさと』を思うお心にお応えすべく、努力してまいります。引き続き『ふるさと納税』にご協力賜りますようお願い申し上げます。本当にありがとうございました。



珠洲市長

早川 達也



本市のコースは、能登半島最先端ならではの美しい海岸線と険しい大谷崎に代表される変化に富んだ魅力的なコースであり、世界農業遺産に認定された珠洲の豊かな「里山里海」、食や優

